

带状疱疹のブツブツ

青春時代なら、顔にブツブツでも出ようものなら大騒ぎにもなろう。が、中高年になって、鏡で自分の顔を見たくなくなるようなお年頃では、どうだろっつ？

72歳のKさん。4、5日前から、右のおでこから前頭にかけて、かゆいような痛いような変な感じがする。虫に刺されたのだろうか？それとも、頭の病気のせいかなどと、心配になる。

で、「大げさかも」と恐縮しているが、とんでもない。立派な「带状疱疹」とてんとうみでんにやぶる三叉神経痛ではないか。右側のおでこから毛生え際に、ブツブツがいくつか見える。

带状疱疹は、神経のあるところならどこでも出てくる。原因は、水ぼうそうを起す「水痘・带状疱疹ウイルス」である。子供の頃に、水ぼうそうに感染する。その水ぼうそうが治った後、原因となった水痘・带状疱疹ウイルスは「神経節」という神経の一部に潜り込む。そこで、ずっと息を潜めて、チャンスをうかがっているのだ。

で、宿主が加齢や病気などで免疫力を低下させた時にウイルスは増殖し、神経に沿って炎症を拡げて带状疱疹を引き起こすのである。

ところで、日本人の成人の90%以上のひとには、带状疱疹ウイルスが体内に潜伏しているといわれる。体力が落ち始める50歳以上から带状疱疹に罹りやすくなる。なんと、80歳までに3人に1人が带状疱疹を発症するといわれているのだ。

おっと、Kさん。ブツブツの発疹を触るのはやめよう。ことに、水ぶくれのやつは危ない。破れたりすると、中にいるウイルスをあちこちバラまへくことになる。ウイルスは強烈だ。空気感染だってある。

だから、まだ水ぼうそうを発症していない、予防接種もしていないお孫さんには近づかないでほしい。ウイルスをつつす危険性が大きい。でも、ご主人にうつす心配は、まず、ありません。

(石黒修三氏インタビュー) 脳神経

外科専門医…1/10北國新聞掲載)